

真剣味



中京大学 | 広報 181号

2014年11月14日発行

主な内容

- ②-③ 社会人の学び(大学院編) / ソーシャルビジネスモデル新設
- ④ 初の学内公募型コンテスト「旅行商品開発プロジェクト」
- ⑤ 理系学生43人が学会発表
- ⑥ 名古屋市科学館との連携講座
- ⑨ 梅村清弘名誉総長の胸像設置 / 中京人往来「プロサッカー選手・齊藤和樹さん」
- ⑩-⑪ 主要公務員に156人合格
- ⑫-⑬ 子どもたち対象に学生がボランティア活動
- ⑭-⑮ 学部授業とトータルサポート
- ⑯-⑰ セミにフォーカス「文化①」
- ⑱-⑲ 7つの研究力「体育研究所」



中京に歴史あり 1971年 ◀◀

体育学部が豊田に移転したこの年、豊田市体育館で行われた運動部の「公開演技」。体育会に所属するクラブが日ごろの練習成果を市民に見てもらうために毎年開催している力と技の競演。多くのアスリートを輩出している本学ならではのイベントだ。

発行 中京大学 広報部

〒466-8666名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL.052-835-7111(代)

ソーシャルビジネスモデル新設

経済学研究科総合政策学専攻 2015年4月

東海地区の大学・大学院で初

経済学研究科総合政策学専攻は、2015年4月、東海地区の大学・大学院で初の「ソーシャルビジネスモデル」を新設する。多様化する社会問題に対して自らの手で解決に乗り出す社会起業家や、企業のCSR（地域や顧客に果たすべき社会的責任）担当者らの入学を想定。社会への貢献とビジネス性を両立させるための理論や手法、事例研究など実践的な教育を行う。

同専攻は、社会人が働きながら学ぶことができるように昼夜開講制を採用している。平日の夜間（18時20分～21時30分）と土曜日の講義を履修することで修了できる。募集定員5人。取得学位は修士（総合政策学）。

3つのアプローチ

社会問題の本質見極める『社会性』
組織の継続性図る『事業性』
新たな価値創造する『革新性』

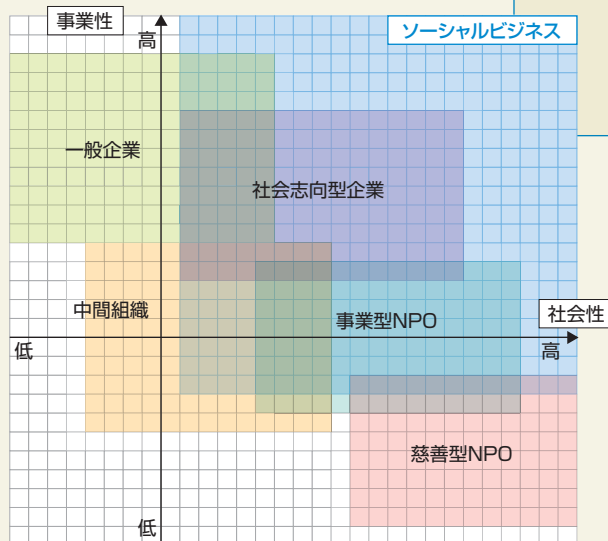
- 【主な科目】
- 総合政策の特殊研究・方法論
 - 非営利組織金融論
 - ベンチャー企業論
 - 社会デザイン研究
 - ファンドレイジング研究
 - ソーシャルビジネス評価研究

総合政策学専攻のソーシャルビジネスモデルは、社会的課題の本質を見極めて解決に努める

「社会性」、資金調達と組織の継続性を図る「事業性」、新たな社会的価値を創造する「革新性」の3つのアプローチを学問的な視点で捉えていく教育を柱に据えている。

多様な講座を開講し、「社会デザイン研究」では、社会的課題の本質を見極めた上で、新しい商品・サービスや、それを提供するための仕組みを開発し、活用するためのあり方を事例研究に基づいて行う。また、ソーシャルビジネスにおけるファンドレイジングの理論を学ぶだけでなく、実際にプランを作成する「ファンドレイジング研究」がある。SROI（社会的投資受利益率）などソーシャルビジネスの成果や業績を評価するための理論を、事例を取り上げて、実務者と議論しながら理解する「ソーシャルビジネス評価研究」など様々なカリキュラムが整っている。

大学院生は理論や手法、事例を学ぶとともに、それぞれに関心があり、実現性の高い新規ビジネスプランを練り上げて行く。



ソーシャルビジネスとは…

利益上げながら社会問題を解決

ソーシャルビジネスは、ボランティアとは異なり、利益を上げながら社会問題の解決に取り組んでいく事業。地域社会における環境保護や介護・福祉、子育て支援、まちづくりなどの課題にビジネスの手法を活用して継続的に取り組んでいく。コストや売り上げを意識することで、事業の効率性や持続性を追求できる。

継続可能なノウハウ必要

公的資金がひっ迫する中、多様化する社会問題に取り組むNPOや企業への期待は、年々高まっている。一方で、継続して一定の役割を果たしていくことは、資金面やビジネススキル面、組織体制からも容易ではなく、事業の縮小や廃止に至るケースも多い。こうした背景から、近年、ソーシャルビジネスに関連した専門教育への要望が高まってきている。

起業資金の獲得を支援

ベンチャーキャピタル招きプレゼン

ソーシャルビジネスの起業に欠かせないのが資金調達である。日本法規情報(株)が昨年実施した調査によると、起業を困難にしている理由は「ノウハウがない(23%)」に次いで「企業資金がない(19%)」となっている。

本専攻では、企業資金の獲得を支援するため、ベンチャーキャピタル(成長性を見込んで資金提供する投資会社)を招

てのビジネスプラン報告会を2年次秋学期に実施。院生各々が1年次より受講してきた講義や演習を通して「社会性」「事業性」「革新性」の3つを組入れたビジネスプランを策定し、ベンチャーキャピタルを前にしてプレゼンする。

このマッチング機会を活用することで、大学院修了後、ビジネスの立ち上げに必要な資金獲得

実践的な学び

大学院編

MBA取得

ビジネススクールで キャリアアップ!

ビジネス・イノベーション研究科

本学ビジネス・イノベーション研究科は、理論と実践教育の融合による次世代ビジネスリーダーの育成を目的とした、ビジネススクール(大学院)で、2003年に開設された。取得学位はMBA(経営管理学修士)。

在學生はメーカーや金融、医療など、多様な職種で働く社会人が多く、平均年齢は30代後半。状況分析や経営判断の能力を身につけ、現場を改善していきたいという強い熱意を持って学修に取り組んでいる。

宮川正裕研究科長は、「大手企業の経営者ら充実した教授陣と、第一線で活躍している企業人(≒学生)が交わり、知識、理論・スキル、人脈形成の3つを身につける学びのコミュニティとして機能している」と教育環境の特徴を話す。

同研究科は、MBAコースに加え、2007年に中部地区では初となる中小企業診断士コースを設置。同コースの修了生は、中小企業診断士の第2次試験(筆記・口述)と実務補習が免除され、中小企業診断士の資

格を得ることが出来る。また、豊川信用金庫、名古屋銀行の2金融機関と連携し、修了後の実務従事に関する支援なども行っている。

MBA単科受講(科目等履修生) 1科目から履修可能 業務革新のヒントに

企業等の最前線で活躍しているビジネスマンが日々の業務の見直しや革新に向けたヒントを得る機会になればと、MBA単科受講(科目等履修生)を開講している。

経営戦略や戦略思考、財務、プロジェクト・マネジメント、マーケティングなど、専門科目を1科目から受講できる制



教員と大学院生が活発に議論

社会人の実



が可能となる。現在、教育の一環として企業資金を獲得するため

の機会を実施している他大学院はほとんどない。

度で、平日の夜間と土曜日にそれぞれ開講している。出願資格は、大学を卒業し、2年以上の社会人実務経験を有する方。本年度、11月14日時点で申し込み可能な科目は、次の土曜開講の2科目。

「コンサルティングのためのプロジェクト」

(中嶋秀隆客員教授)

【授業概要】国際標準であるPMBOK®「プロジェクト・マネジメント知識体系」に基づき、10のステップに沿った進め方を学習する。

「ストラテジック・マーケティング」

(香月秀文客員教授)

【授業概要】SWOT分析などの活用方法、プロダクト・マネジャーに要求される製品コンセプト・メイキングの方法などを学ぶ。

《料金》選考料1万円、入学登録料1万円(ともに本学卒業生は免除)、履修料4万2千円/1単位(本学卒業生は半額)

《問い合わせ先》本学MBAオフィス

052-835-7991

社会人選抜を実施している研究科と入試日程

研究科(専攻)	社会人選抜の出願条件	願書受付期間	試験日	合格発表日
文学	大学卒業後7年以上	1月16日(金)~1月27日(火)	2月14日(土)	2月20日(金)
法学	30歳以上 大学卒業後5年以上	1月16日(金)~1月27日(火)	2月12日(木)	2月20日(金)
経済学(経済学専攻)	大学卒業後3年以上	2月2日(月)~2月13日(金)	2月28日(土)	3月6日(金)
経済学(総合政策学専攻)	職業経験	2月2日(月)~2月13日(金)	2月28日(土)	3月6日(金)
体育学	3年以上の実務経験	1月16日(金)~1月27日(火)	2月14日(土)	2月20日(金)
ビジネス・イノベーション	2年以上の実務経験	12月15日(月)~12月22日(月)	1月10日(土)	1月16日(金)
		1月23日(金)~1月30日(金)	2月7日(土)	2月13日(金)
		3月6日(金)~3月13日(金)	3月22日(日)	3月23日(月)

※詳細は入試要項を参照

初の学内公募型コンテスト

旅行商品開発プロジェクト

JAL・名鉄観光サービスと連携



本学初となる学内公募型のコンテスト「JAL(日本航空)・名鉄観光サービスとの産学連携による旅行商品開発プロジェクト」が9月からスタートした。10月8日の事前説明会には29グループ、95人の学生たちが参加し、主旨や企画書の作成方法、スケジュールなど詳細を確認した。

企画する旅行商品はJALの「わく旅キャンペーン 名古屋ーバンコク線」付加価値やテーマ

マ性があり、顧客がわくわくする旅の開発で、最優秀企画は、来年7月以降に商品化される。

わくわく感が決め手 最優秀企画は商品化

JALの山本達也統括マネジャーは「中部地区の人が行きたくなるタイ」がテーマ。学生の皆さんにとっては商業活動の実践教育の場に、私たち航空会社にとつては旅行業界の活性化につながる場になる。多様な学部で学んでいる皆さんの知恵を絞って、お客様に受け入れられる商品開発を」と期待を込めた。

タイ国政府観光庁の森井英二マーケティングマネージャーは「タイは微笑みと驚きの国。大変な親日国でもある。物価が安く、食・歴史・文化・自然など観光素材が豊かで、海外から高い人気を得ている」と観光地としての魅力を紹介した。

名鉄観光サービスの窪田陽子海外旅行部課長は「わく旅は、夢と気分とHAPPYという形の



意欲的な学生たちが集まり、熱気に包まれた説明会場

ない『わくわく』感売っている。旅行プランナー、旅行セールスマンになったつもりで、現地の魅力を誰に売るのかをじっくり練って」と企画に求める内容を説明した。また、採点基準(付加価値とテーマ性40点、タイトルとキャッチフレーズ30点、実現性10点、企画書の作成・提案力10点、販売促進の企画力10点)も示された。

応募資格は中京大生(1〜3年)の全員。ゼミ、クラブ、旅行業界への就職希望者、その他有志など、3人以上のグループで企画案を作成し、11月28日までに応募。一次選考(12月16日)を通過したグループは、JALと名鉄観光サービスのアドバイスを受けながら企画のブラッシュアップを図り、最終プレゼン(3月末)に臨む。

説明会に参加した国際教養学部の学生は「授業で旅行企画をしたことがあり、経験や反省点を生かしたい。おもてなしの国タイは調べがいがある」と意欲的に話す。旅行業界への就職を希望している3年生でグループを組んだ学生は「二次選考を通過すると、JALや名鉄観光サービスの職場を訪問し、質疑応答をする機会もあると聞き、胸が躍る。夢のある企画で一次突破を狙いたい」と決意を語った。

図書館の貴重書 12



古今著聞集(貴129)
古典の教科書にも載る
著名な説話集

本書は『古今著聞集』の、元禄二(1689)年浄土真宗僧惠空(えくう)書写の伝本である。栗皮色表紙。内題:「古今著聞集」、外題:「著聞集」。二十卷十冊で、各冊に「江州金森善立寺」(浄土真宗大谷派の寺院)、「宗学院蔵書」(大正十四(1925)年発足。浄土真宗本願寺派本願寺内の研究施設)の朱印が押されている。本文は甲門系統に属するもので、特段に特徴があるわけではないが、素性や来歴のはつきりとした善本である。

長六(1254)年に成立した説話集で、編者は撰閑家九条道家近習の下級貴族橘成季。収録話数は数え方にもよるが、『十訓抄』等からの後年の増補も含めて七三六話。現存する日本の説話集の中では、『今昔物語集』に次ぐ規模のものである。説話を「神祇」、「釈教」、「政道」等三十編に分けて年代順に整然と配列する。

筆写者の惠空は、江戸時代前期に活躍した人物で、近江国(滋賀県)野洲郡金森の善立寺の生まれである。初め天台宗を学び、後に浄土真宗を修学。『無量寿経講義』、『叢林集』等、著作も多い。(文学部准教授 徳竹由明)



オープンキャンパス 受験生・保護者が9千人 模擬講義の人気高く

受験生や保護者らにキャンパスを開放し、本学への理解を深めてもらう「オープンキャンパス」が7月19、20日に名古屋キャンパスで、9月14日に豊田キャンパスで開かれ、過去最高の9,235人(前年比112.2%)が訪れた。教育の特徴や、入試選抜方法、留学や就職のサポート体制など、受験生らは進路選択の指針にと熱心に耳を傾けていた。

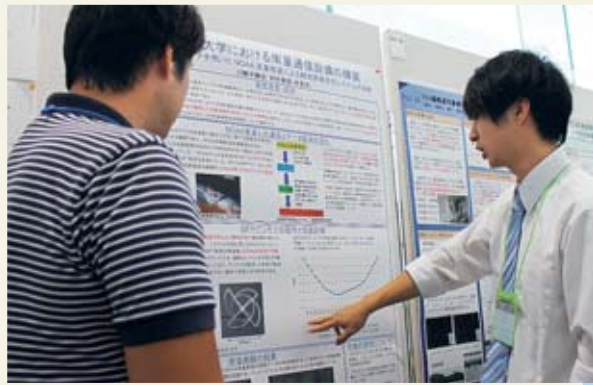
来年4専攻制となる現代社会学部をはじめ、各学部の模擬講義の人気は高く、延べ7,015人が聴講。「フリーターはなぜ増えた?社会学で考える労働問題」「外国語への招待」「揺れる国境—沖縄・尖閣のいま—」など、高校生の学問への興味関心を引き出すテーマで行われた。教職員による個別相談コーナーや学生の研究紹介、施設見学ツアーも好評だった。



「学生の対応が親切」

参加した高校生からは「学部ごとの特徴がはっきりし、学部選びの選択肢が増えた」「学生の皆さんが親切で明るく、心が温まった」「活気のある雰囲気など、パンフレットやネットだけでは解らない魅力があった」などの感想が寄せられた。

◆自分の身を守る
◆状況を確認し安全を確保
◆安否の連絡(家族、大学)
マニュアルでは、地震が発生したら自分の身を守る、揺れがおさまったら状況確認し安全確保、落ち着いたら安否の連絡、など対応方法が記されている。



ポスターセッションで説明する学生

本学理系の学生43人(学部生および大学院生)が9月8、9日、名古屋キャンパスで開かれた電気・電子・情報関係8学会合同の東海支部連合大会で、研究成果を発表し、他大学の学生や教員、約1200人と研究交流を行った。一つの大学の学生が一度に40人以上も学会発表するケースは珍しい。

本学学生たちはオーラルセッション、ポスターセッションで、「タイヤ外面検査のための照明条件の実験的検討」「レスキューロボット訓練用マップにおける障害物の難易度調査」など、豊かで安全な社会を目指す研究の成果を披露した。

研究紹介のポスター前で他大学の学生や教員からの質問に答えていた豊田和貴さんと帷子勝也さん(情報理工学部4年)は、「直前まで想定質問の準備はしてきたが、先生方の質問は鋭く、想定外の範疇を越えていた。より詳細な実験などを行い、しっかりと答えられるようにしていきたい」と意欲的に語った。

本学の学部生と大学院生31人はスタッフとして、発表の進行係や教員のフォロー、教室の設備整備など運営にも携わった。大会実行委員長の興水大和教授は、「学生たちも非常に意欲的で、昨年の約3倍にあたる43件の研究発表をした。学術的な催

理系学生43人が学会発表 他大学の学生や 教員1200人と研究交流

しの運営にも携わり、いい経験になったのでは」と話している。

大地震に備え 学生向け 対応マニュアル



文部科学省の地震調査研究推進本部は、東海から近畿・四国地区の沖を中心とした大地震(東海地震)が30年以内に87%の高い確率で発生すると2011年に発表した。

本学災害対策委員会は大地震が発生した際、学生たちが安全かつ迅速に行動できるようにスマートフォン用の「大地震対応マニュアル」を作成。10月3日に公式ホームページに公開し、事前にスマートフォンにダウンロードするよう呼びかけている。

落ち着いたら(その3)

必ず大学に安否確認の連絡

ALBOに、大学から安否確認のアンケートが入るので必ず該当箇所(無事、軽傷、重傷)をチェックして返信(コメントも追加できます)

- ・帰宅の場合は**帰宅前**に
- ・避難所に避難する場合は**避難所**で

名古屋市科学館との連携講座

においを消す
不思議なタマゴを作ろう！

人工知能高等研究所



「不思議なタマゴを作ろう！」を開催した。5倍を超える応募者の中から32人の親子が参加し、子どもたちは目を輝かせながら陶製の不思議なタマゴ作りに挑戦した。

粘土でタマゴを型どり、焼きあがった陶製のタマゴに思い思いの絵を描いた後、臭いを消す不思議な薬を塗った。この薬は、野浪亨・工学部教授が研究開発した「光触媒機能と調湿機能をハイブリッド化した材料」。臭いの元となる室内の浮遊物を吸着させ、日光に当てると分解するため、何度でも使える。野浪教授らのほか、工学部の学生20人も協力した。



小学生に臭い消しの実験方法を説明する学生

子どもたちの目
キラキラ

カレーの臭いを消す実験を担当した喜田光さん(4年)は「子どもの立場になつて実験内容を伝えるのは難しい。子どもに伝える力が付けば、大人相手に研究発表する時には、しっかりと伝えられるはず」と手応えを感じた。興水大和・人工知能高

●心理学部の河原純一郎教授が特別優秀賞
お辞儀は顔の主観的魅力を向上



心理学部
の河原純一郎教授が9月9日、日本心理学会

第78回大会会員集会で特別優秀発表賞を2件受賞した。授賞発表のうち1件は東京大学の杉尚之氏との共著で、「お辞儀は顔の主観的魅力を飛躍的に向上させる」。顔画像を、お辞儀を模して前に25度前傾させて戻すと、直立したままや、後ろに25度倒して元に戻した場合と比較して、観察者による顔の魅

度評価は約20%上昇した。幾何学図形では起こらず、顔に特有な効果だった。もう1件は、産業技術総合研究所の永井聖剛氏、奈良教育大学の山田陽平氏との共著で、「大

きいモノは強く叩く→オブジェクトの大きさに関する概念的知識と反応出力強度との適合性」。語が表す物体の大小に関する概念的知識が、指で行われる運動反応の強弱と密接に関連していることが示された。

《高卒当然社会》の戦後史
誰でも高校に通える社会は維持できるのか

相澤 真一
(現代社会学部准教授)他著

誰もが高校に行くことが当たり前の時代になって久しい。だが、それはいかにして可能となったのか。その結果、日本社会に何が起きたのか。本書は、戦後高校教育の拡大過程を緻密なデータ分析によって丹念にたどり、その多様なダイナミズムを明らかにする。なお、本書の表紙は、高校進学率拡大期当時の本学附属高校の様子を写したものである。

新曜社。2014年7月22日刊。
226頁。本体2,300円+税

運動和競技運動生理学

北川 薫
(学長、スポーツ科学部教授)著
黄彬彬、郭志輝 訳

本書は拙著「運動とスポーツの生理学改訂3版」(市村出版)の中文訳本である。訳者の黄先生には40年以上にわたり懇意にして頂き、台湾との交流の原点でもある。訪台するうち、運動・スポーツ科学分野にて拙著が役に立つのではないかと、思い黄先生に翻訳、出版をお願いした。共訳者の郭先生、推薦文を頂いた諸先生方はいずれも台湾の体育界の重鎮である。

台湾 五南圖書出版。2014年10月1日刊。224頁。本体360台湾元

The Evolution of Social Communication in Primates

長滝 祥司
(国際教養学部教授)他著

本書は、シュプリンガー出版の新企画、学際研究シリーズの第1巻を飾るものである。人間を含めた霊長類における社会的コミュニケーションの進化をテーマとし、言語の起源なども視野に入れた論文集となっている。哲学、霊長類学、言語学、認知心理学など、欧米を中心に国際的に活躍する多彩な執筆陣を揃え、本格的な学際研究の書に仕上がっている。

Springer。2014年6月刊。
326頁。本体149.99Euro

第4回研究交流会

専門の垣根越え活発に議論
教員・学生ら40人が参加

沼田宗敏・人工知能高等研究所員（工学部教授）は、名古屋科学館と

本学に設置された6研究機関が相互に研究力を高めていくことを目的に実施している「第4回研究交流会」が7月23日、名古屋キャンパス・アネックスホールで行われ、教員、学生ら40人が熱心に聞き入った。

北川薫学長は挨拶で「研究所が横の連携で交流を深め、研究力を高めていくこの交流会は、大学として珍しい取り組み。第一部の研究発表、第二部の懇親会とともに、活発に意見交換してほしい」と期待を込めた。



昨年9月に連携協定を結んだ経緯を説明。子どもから大人まで、市民の皆さんに科学の面白さや

社会に役立つ技術を知ってもらおうと取り組んでいる共催イベントを紹介した。

向日恒喜企業研究所員（経営学部教授）の「写真」は、職場環境・自尊感情・知識提供の因果関係の分析結果を報告。従業員を会社の資産として大切にしている企業などを例に、多面的な評価の重要性を述べた。また、この成果は大学におけるゼミ運営でも生かすことができると語った。吉野裕介・経済研究所員（経済学部講師）は、オバマ政権のネットを使ったオープンガバメントを例に、新しい政府観について言及。政府や自治体は開かれているか否かが重要で、社会の価値観はモノから知識の豊かさへと移行していると説明した。

高大連携教育プログラム「高大連携学部授業」

附属中京高校生400人
学問への関心高まる

た。高大連携教育プログラムの一環で毎年9月に実施している。

早期から専門分野への学問的な関心を高め、問題発見と課題解決の能力を養うことを目的に、本学と附属中京高等学校の高大連携学部授業が9月16、17日に名古屋、豊田両キャンパスで行われ、2年生385人が参加し

文学部の「日本に最初に生まれた文学『万葉集』を味わう」をはじめ、生徒らは11学部30コマから3学部を選択。「高校の授業と比べて内容は難しく感じたが、将来の仕事につながる興味のある学習に集中できる」と専門的な授業に臨

んでいた。講義後、学生が研究成果の発表や学部での学びの魅力を紹介し、進路選択をアドバイスした。



大学の授業を受ける附属高の生徒

ヨーロッパ中世の
民衆教化と聖人崇敬

カロリング時代の
オルレアンとリエージュ

多田 哲
(国際教養学部教授) 著

西ヨーロッパでは、中世初期のカロリング時代において、個人の生活習慣のキリスト教化が進展する。

本書は、この時代のキリスト教化の進展を、王権と司教が主導した民衆教化の分析を通して解明する。目下のところ停滞期にある民衆教化研究に、一石を投ずる業績である。

創文社。2014年3月1日刊。
550頁。本体10,000円+税

儒学殺人事件

堀田正俊と徳川綱吉

小川 和也
(文学部教授) 著

江戸時代前期、貞享元年(1684)8月28日、徳川幕府権力の中核たる江戸城において、大老・堀田正俊が刺殺されるという事件が起こった。この事件の背景には、5代将軍・徳川綱吉と大老の対立があった。その対立は、儒学によっていかに国家を統治するか、両者の儒学観の相違に起因している。いったい、それはどのようなものであったのか。儒学思想から大老刺殺事件の核心に迫る。

講談社。2014年4月25日刊。
382頁。本体2,800円+税

材料工学

野浪 亨
(工学部教授) 著

固体材料の定義、歴史、分類について述べるとともに、原子間結合から結晶質固体、非晶質固体の構造、固体の構造欠陥、状態図と相平衡、微細構造の発達と、機械的性質との関係の概要を解説した大学での材料工学を学ぶためのテキスト。例題、練習問題も収録する。

技報堂出版。2014年4月30日刊。157頁。本体2,600円+税

スポーツ科学のプロが教える
体の不調を改善するための

症状別ウォーキング

湯浅 景元
(スポーツ科学部教授) 著

「健康は自己管理が必要」という考えは、幅広い年齢層で普及してきている。とくに多くの人たちが健康管理として実行しているのは、ウォーキングである。ところが、ただ歩けばよいのではない。多くの研究から明らかのように、目的に応じた負荷をかけなければ効果は現れない。本書では、症状別の歩き方を紹介するとともに、歩く時間帯の重要性についても提言している。

SBクリエイティブ。2014年5月2日刊。175頁。本体1,000円+税

2016年卒から就活スケジュール変更

保護者対象に「就職セミナー」

大学と保護者で学生の進路支援

日本経済団体連合は昨秋、①学生が学業に専念する期間が延びる②海外で学ぶ留学生の就職活動機会が広がる―を理由として政府からの提言を受ける形で、2016年3月卒の大学生から就職活動の解禁時期を繰り下げたことを発表した(以下図参照)。



同センター職員は「就職活動の動向を知って早めの計画や行動を。キャリアセンターの個別相談や企業・官公庁セミナーなども活用して」と呼びかけた。個別相談コーナーでは、今後参加できるインターンシップの日程や、公務員と民間企業の進路選択などについて、担当職員が説明やアドバイスをを行った。



個別相談コーナーで説明を行う職員

大学と保護者で支援すること
を目的に、東海地区在住の3年生の保護者に向けた「就職セミナー」が9月27日、名古屋キャンパスで行われた。学生が働き

地域住民と学生に講話会

余裕持ち事故減へ

中京大学交通安全連絡協議会

日頃の交通安全への意識を高めるきっかけにしてほしいと、中京大学交通安全連絡協議会が10月24日、「交通安全講話会」を名古屋キャンパスで開き、近隣住民40人と在学生60人が参加した。同協議会は文化会や大学祭実行委員会の学生と学生支援室職員からなる。



交通安全講話会

竹内陸さん(心理学部1年)が、安全で快適な学生生活を送るための交通安全宣言を行った。

と訴えた写真。

大学の交通安全連絡協議会の可能性を減らすため、10分の余裕を持つて家を出るような心がけて」

第30回全国同窓会

長崎に80人集結

「我々の原点は大学で 過ごした時間にある」

森谷・同窓会長



肩を組み、学歌を熱唱する学長(左から4人目)や同窓生ら

節目の30回を迎えた中京大学全国同窓会が10月11日、長崎市で開かれ、同窓生、同窓会役員、大学関係者ら80人が参加し、交流を深めた。

同窓会長の森谷敏夫・京都大学大学院教授(73年体育卒)は「我々の原点は、精神的にも肉体的にも一番伸びる20歳前後の頃、中京大学で過ごした時間にあります。人生に最も大きな影響力を与えてくれた中京大学のため、皆さんの更なる「尽力」と挨拶。北川薫学長は「OBの皆様のおかげで、中京大学はここまで発展してきました。ありがとうございます」と述べて。元気で賢い中京大生が先輩方の後に続々と続いており」と述べた。

懇親会が始まると、当時の思い出を語りあう輪がいくつもの

き、和やかな時が流れた。長崎県支部の発案でアトラクションもあり、マスクを早業で変えながら踊る中国伝統芸能「変臉」に会場からは歓声がわき上がった。最後に全員が肩を組み、学歌を高らかに唄い、閉幕となった。

今大会の運営にご協力いただいた妻鹿実・長崎県支部長(75年体育卒)は「今後は若手の参加者を増やし、裾野を広げたい」と抱負を述べた。

訃報

名誉教授
元社会学部教授

中野 卓さん
(なかの・たかし)



7月30日逝去されました。93歳。86〜95年在職。社会学概論。

功績称え胸像を設置

「梅村清弘名誉総長」

梅村清弘・梅村学園名誉総長の功績を称え9月22日、名古屋キャンパスのセンタービル入口横に胸像が設置された。

除幕式で梅村清英理事長は「名誉総長は、攻めの姿勢で今日の中京大学の発展の礎を築かれた」とあいさつ。梅村清弘名誉総長は「当時の思いがよみがえり感慨深い。本当にありがとうございます」と謝辞を述べた。

梅村清弘名誉総長は、1980年に中

京大学学長（1988年）に、1988

年に第2代梅村学園

理事長に就任。1990年からは

総長を兼任した。2011年1月

までの31年間、大学や学園の最高

責任者として、教育改革や地域貢

献に尽力し、発展の礎を築いた。

学長に就任して最初に着手した

のが慢性的な赤字体質からの脱却

だった。学費の見直しなどにより、

財政基盤を充実させ、教学条件・

内容の改善を図り、総合大学への

道を切り開いた。

学園第2代理事長、 本学第3代学長として発展の礎築く



胸像の隣に立つ梅村清弘名誉総長（中）と
恵子夫人（左）、梅村清英理事長

長らく続いた4学部、4研究科、1教養部の体制からやがて踏み出し、20年余りで今日の11学部、11研究科の体制を確立した。

施設整備にも積極的に取り組んだ。開学40周年記念でセンタービルを完成させ、開学60周年記念の本部棟、図書館・学術棟建設に道筋を付けた。

中京 往人

齊藤 和樹 選手
プロサッカー選手
(ロアッソ熊本)

将来意識し過ぎず 目の前のこと一步一步



©AC KUMAMOTO

「チャンスはいつ来るかわからないが、いつ来てもいいように万全の準備をしておく」。ロアッソ熊本との2年契約が切れる2012年のシーズン初め、齊藤和樹選手は覚悟を決めた。

プロ1年目（2011年）は出場機会が少なく、自信をなくしていた。実力が伴わないのに不満を言うこともあった。「今シーズン結果をださないと、もう後がない。監督の求めているフォワードとしてのプレーとは……。試行錯誤しながら少しずつ実践で示していた。昨年からはレギュラーに定着。今年は

チーム躍進の原動力となつている。

本学サッカー部の長滝祥司部長（国際教養学部教授）は、当時の印象を「普段は飄々とした感じで、あまり欲のない学生だった」と振り返る。ただ試合になると「闘志を秘めていた。理論的で自分のプレーを客観視できる選手だった」と話す。大学、プロを通してほとんど怪我をしてないのは「五分五分の取り合いでも、躊躇しない」という思いきりの良さが秘訣のようだ。

将来のことを意識し過ぎず、目の前のことをやり一步一步進んできたという齊藤選手。好きな言葉は『継続は力なり』。後輩たちに「好きなことがあつたら、とことん続けてほしい。最初は芽が出てなくても、続けていけばチャンスは巡ってくる」とメッセージを送っている。

●静岡県清水市出身。2011年中京大学体育学部卒。同年サッカーJ2リーグのロアッソ熊本と契約。趣味は飼犬のミニチュアダックスフンドと触れ合うこと。



編集記

一昔前まで、融通が利かず、なかなか進まない対応を揶揄する言葉として『お役所仕事』がよく使われた。公務員にとっては迷惑な言葉だったが、役所で手続きをする時、そう感じる時は確かにあった
◆先日、豊田市役所を訪れた。活気のある職場に機能的な配置、何より市民を大切にする雰囲気伝わってきた。昨年3月、本学と豊田市は連携協定を締結。豊田市長は中京大生と意見交換も行い、市政への疑問や提案に耳を傾けた
◆昨年、最難関の国家総合職や地方上級職、警察、消防士などに本学の学生365人が合格した。国や地域を支えたいと皆、志も高い
◆公務員は年々社会からの期待が大きくなり、社会的な責任も重くなっている。今、『お役所仕事』と揶揄する人はいないだろう。（は）

無理なく集中×リラックス



心理学部
鈴木 理恵

合格 国家総合職(法務省)
地方上級(愛知県)
進路先/法務省

法務省矯正局は、刑事施設の被収容者の処遇の適正化等を担当しています。学部の講義で麻薬常習のため服役した方々の話を聞き、興味を持ちました。私は心理学部生ですが、人間科学区分と比べて合格・採用枠が多いことから、試験は全て法律区分で受験しました。

大学では対策講座を受講でき、多くのフォローを受けられます。1、2年時は「基礎力養成講座」や「行政書士講座」(2012年開講)で知識、論文、集団討論や法律の知識を養い、3年時から「公務員講座」で本格的に対策を始めました。

公務員試験は科目数が多いため勉強期間が長く、モチベーション維持が大切です。緊張感を保つため選抜制自習室や図書館、自宅等場所を変えながら勉強し、集中できない時は気分転換し、全く勉強しない日を作りました。

いつも夜遅い私の帰宅を待ち、試験への不安を聞いてくれた母の存在も大きな力になりました。合格祈願のだるまを買う等気にかけているかと思えば、試験当日早起きした私に「今日試験だけ」と一言。マイペースな態度に、リラックスして試験に臨むことができました。

合格までの道筋を考え、無理なく勉強を続け、学生生活や社会経験も充実させることが必要だと感じました。

講座に「部活動」重ね切磋琢磨



経済学部
松田 裕太

合格 裁判所職員一般職
国家一般職(名古屋法務局)
国税専門官
地方上級(名古屋市)

進路先/名古屋市役所

子どもの頃から周囲の相談を受けることが多かった私は、高校時代の担任に勧められたことをきっかけに公務員に興味を持ち、住民にとって一番身近な窓口である市役所職員を志望しました。

中学・高校と、地元の島根で水泳の部活動に明け暮れていた私にとって、公務員講座を通じた勉強は部活動と共通するものが多くありました。

他の受講生は同じ目標に向かうチームメイトであり、合格者の枠を争うライバル。負けるわけにはいきません。

勉強面では、問題集を繰り返し解くという反復学習を大事にしました。基礎トレーニングから少しずつレベルアップして上達していくのは勉強もスポーツも一緒です。月日と共に積み重ねた練習量に、試験の結果はついてきます。

たくさんの方の仲間に支えられ、切磋琢磨して得たチームワークが大学4年間における一番の財産です。広いフィールドで活躍したい、出会った仲間たちと今後も関係を続けたいという気持ちから名古屋市役所への就職を決めました。大学で出会った仲間たちと共に、第二の故郷である名古屋へより多くの方が訪れるようなまちづくりを目指します。

インターンシップで仕事像描く



法学部
望月 晴加

合格 国税専門官
地方上級(静岡県)
藤枝市

進路先/静岡県庁

名古屋で一人暮らしをするようになって、より地元に対する愛着がわき、生まれ育った静岡県に貢献したいと思い静岡県庁を志望するようになりました。

静岡県庁で働く先輩のアドバイスを受けて、3年次の夏休みに静岡県庁危機管理部防災通信課で5日間インターンシップに参加しました。事務仕事のイメージが強かったの

ですが、実際には炎天下で、災害時に使用する衛星中継車を使った防災訓練をするなど外回りの仕事も多いことがわかりました。また、上司部下ということにとらわれずに意見が活発に飛び交い、コミュニケーションがしっかりと取れていると感じました。目的に向かって職務を遂行することが効率性にもつながっていて、私もこういった職場で働きたいという気持ちが強くなりました。

参加のきっかけは面接のことを考えてでしたが、それ以上に働いている姿をイメージしやすくなり、約半年間勉強を続けてきて少し中だるみしていた私にとってはモチベーションアップにつながりました。

インターンシップ参加が試験において直接的に有利になったとは思いませんが、参加したからこそ自信を持って具体的にやってみたい仕事や目指す職員像を面接で伝えることができました。夏休みの勉強時間は少し減ってしまうかもしれませんが、得るものは大きいと思います。

2014年度 主要公務員試験 合格者 156人

2014年度主要公務員採用試験(国家総合職・一般職・専門職、裁判所一般職、地方上級職など)の結果発表が行われ、本学の合格者は156人(10月31日現在)となった。

科目数も多く、広い範囲の試験に挑むため、長期にわたるモチベーションの維持が必要となる公務員試験。国や地域のために自分の知識や力を生かしたいと、仲間と切磋琢磨しながら最終合格を勝ち取った3人が、試験勉強の方法や集中する際のコツなど、後輩へのアドバイスを寄せてくれた。

積み重ねた知識と経験役立てる

最難関の国家総合職10人 (私大全国9位、中部地区1位)

主要公務員試験の合格実績

	2012年	2013年	2014年	
国家総合職	8	5	10	
国家一般職	17	50	47	
国家専門職	国税専門官	34	40	46
	財務専門官	—	3	1
	労働基準監督官	—	1	2
	法務省専門職	1	0	1
裁判所一般職	8	7	6	
地方上級	64	67	43	
(内訳)	愛知県 26	愛知県 28	愛知県 16	
	名古屋市 8	名古屋市 10	名古屋市 9	
	その他 30	その他 29	その他 18	
合計	132	173	156	

※2014年の実績は10月31日時点、資格センター判明分
 ※国家総合職および国家一般職の合格者数は人事院公表値
 ※2012年は、国家一般職採用人数が前年度比約35%削減された年

公務員試験の最難関である国家総合職(旧国家Ⅰ種)に10人(人事院公表値)が合格した。中部地区の私大で唯一、9年連続合格者を輩出している。内訳は、法学部6人(いずれも法律区分)、心理学部2人(法律区分)、経済学部1人(経済区分)、未報告1人。合格者数10人は、私立大学で全国9位、中部地区で1位。

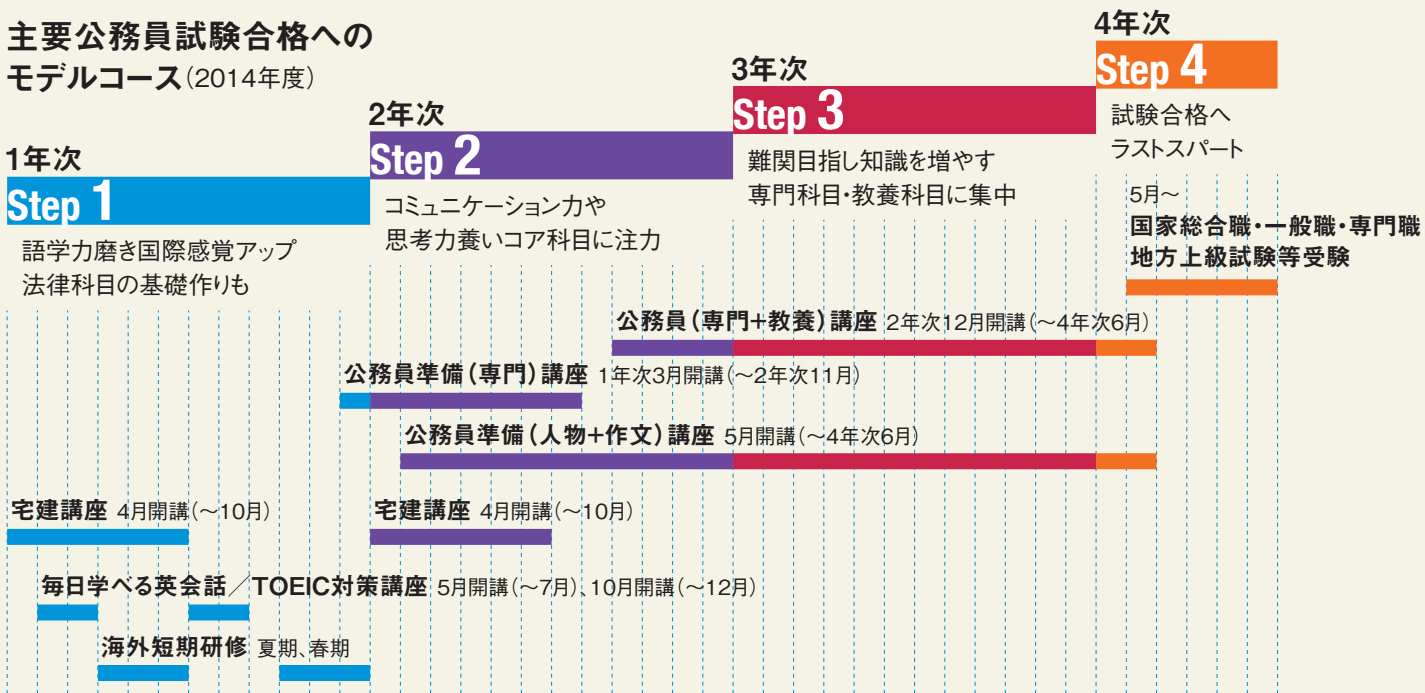
国家一般職(旧国家Ⅱ種)の合格者は47人(人事院公表値)。一昨年は政府が合格者を大幅に絞り込んだが、昨年と今年は50人前後が成果を残している。

全国の倍率は、総合職(大卒区分)が13.2倍(申込17,985人、合格1,367人)、一般職が5.7倍(申込35,508人、合格6,183人)。

国家専門職の中でも、税務署や国税局において税務行政に携わる国税専門官の合格者は46人で、6年連続で安定して高水準を維持している。財政や税金に関する調査・指導を行う財務専門官や、事業所に立ち入って労働条件の向上を図る労働基準監督官にも合格者が始めている。

都道府県庁および政令指定都市の地方自治体で地域活性化のための仕事を行う地方上級試験の合格者は43人だった。地域に密着し、住民の声を聴きながら地域の活性化や安心安全で豊かな市民生活を支えていきたいと、例年多くの学生が希望している。

主要公務員試験合格への モデルコース(2014年度)





子ども会で「じゃんけん列車」ゲームを行う部員ら

ぶ機会を増やすことも大切にしています。子どもたちに楽しく豊かな経験を与える場になれば幸いです。

9月6日、「天白区手をつなぐ育成会」のお手伝いとして、岐阜県中津川市のストーンミュージアム博石館へ行き、障がいのある子どもたち15人と一緒にゲームをしたり、施設を回りました。保護者の方からは「ボランティアとマンツーマンで楽しめた」「子どもたちに合わせたゲーム内容を色々と考えて欲しい」などと感想をいただきました。ご意見をもとに、私たちはより簡単に伝わりやすいゲームを考えていきます。

(心理学部3年 長瀬和泉・井上湧斗)



手作りの人形劇も毎年好評だ

できました。

最終日は、打ち解けた子どもたちから被災時の体験を聴き、その後被災跡地を見に行きました。津波が襲ってくる様子や目の前で人が流されていく様子を、涙を流しながら語ってくれ、改めて被害の悲惨さを痛感しました。駅まで見送りに来てくれた子どもたちから「時が経った今でも被災地を気にかけてくれることが本当にうれしい」と感謝の言葉をもらい、来年もまた来ることを誓いました。(現代社会学部2年 神谷友貴)

名古屋キャンパス テーマ『素』



中京大学祭

10月31日-11月2日

「お足下の悪い中、多くの方がお越しください、クイズや子ども向けの企画などへご参加いただきました。大学祭で過ごした時間が皆様にとって素敵なものとなりましたら幸いです。ご支援・ご協力ありがとうございました」

(名古屋・豊田実行委員一同)



豊田キャンパス テーマ『翔』～共に翔る 新たな道へ

《文化会クラブ》12月の発表会案内

●演劇部劇団いかづち 師走公演

日時 12月6日(土)
14:00～、18:00～
12月7日(日)
13:00～、17:00～

会場 名古屋市・
劇場「ナンジャーレ」

演目 「開かずの間」
入場料 (前売)500円
(当日)600円

●ギターアンサンブル 定期演奏会

日時 12月13日(土)18:15～
会場 名古屋市・天白文化小劇場
曲目 クリスマスソングなど
入場無料

●フィルハーモニー交響楽団

定期演奏会

日時 12月14日(日)17:00～
会場 名古屋キャンパス
清明ホール

曲目 歌劇「カルメン」より前奏曲
ほか

入場無料

●吹奏楽団 定期演奏会

日時 12月28日(日)16:30～
会場 刈谷市総合文化センター
アイリスホール

入場無料

子どもたちを笑顔に

大学で学んだ知識や学生ならではの発想力、行動力を生かして取り組む学生たちのボランティア活動。本学の学生も、国際交流や防犯、健康や医療に関する活動などを行っている。

今回は、子どもたちを笑顔にしようと、課外活動を通じて東北の被災地支援に取り組んだり、体操教室などを開催している3つのゼミ・クラブにスポットを当てた。



体を動かし友だち作り 「スタッツ教室」で笑顔に

●体育会・レクリエーション部



マット運動を実践しながら指導する部員

私たち中京大学体育会レクリエーション部は小学1～4年生を対象に「スタッツ教室」という名の体操教室を自治体と協力して開いています。豊田市で6教室、みよし市で1教室の計7教室で実施。1教室は約100人で、週に1回、8回を1教程としています。

遊びの要素を取り入れ、体を動かすことの楽しさを実感させ、友達作りのき

っかけになるような内容を目指して、器械運動に加え、ボールやフリスビー、縄など、学校の授業で扱う運動を中心に毎週、異なった運動や目標を設定して指導しています。

「家で兄弟に体操を教えている」、「将来スタッツ教室の先生になりたい」などの感想も多くあり、喜ばしく、誇らしさも感じています。

30数年間の活動が認められ、豊田市や愛知県知事からボランティア活動を表彰され、1993年に厚生大臣賞を受賞。2005年の秋の褒章には児童健全育成活動奉仕団体として「緑綬褒章」を受章しました。

今期の目標は「子どもたちにも保護者の方にも笑顔で来て、笑顔で帰ってもらえるようなスタッツにする」。部員全員がこの目標に向かって臨んでいます。

(スポーツ科学部
2年 鈴木大介)

子ども会の企画や人形劇で 楽しく豊かな経験を

●文化会・児童文化研究会

私たち児童文化研究会くれよんは、名古屋キャンパスの近くで児童福祉関連の活動を行っている文化会所属のクラブです。大学と共に今年で創部60周年を迎え、部員数は24人です。1年間で、子ども会を約20回、その他ボランティアを約10回行い、人形劇は2公演で300人近くの方に足を運んでいただいています。活動を知り、信頼して頂けるようになったのは、これまでの先輩方の努力の積み重ねです。

一番大切にしていることは『子どもたちに楽しんでもらうこと』。安全面の配慮は不可欠ですが、学年や性別の異なる多くの子どもが同じルールを守って一緒に遊



仮設住宅で子どもたちと絵を描くゼミ生



東北の子どもたちと3日間 仮設住宅で共に過ごす

●現代社会学部・大友昌子ゼミ

大友ゼミは、社会福祉士の国家資格の取得を目指し、福祉活動を行っています。普段は、大学に障がいを持つ方を招いたり、クリスマス等のイベントを企画しています。夏休みには東北復興ボランティアや24時間テレビの募金活動、過疎地域で子供の勉強を見るな

ど、地域住民との交流も多く行いました。

8月1～3日に行った東北復興ボランティアは、今年で3回目となるゼミ活動で最も大きな企画です。「仮設住宅の人々に元気になって欲しい」「被災地の現状を自分の目で見て、震災の体験談を聞きたい」「震災の記憶を消してはならない」という思いから、2・3年生33人で宮城県名取市の美田園に建てられた仮設住宅を訪れました。現地の小学生7人とご飯を一緒に作ったり、出し物を披露し、楽しそうな表情を見ることが

学生の意欲に応える トータルサポート体制

グローバル人材の育成

国際的な視点で活躍できるグローバル人材を育成するために、効果的な学習を促すケース別モデル「グローバルステップ」(G-STEP)を用意。学生たちは、国際センターが主催する英語講座やイベント、留学プログラム、また学部別の留学制度を段階的に活用し、語学力、コミュニケーション能力、異文化理解力、積極性を培っていく。

- step1** 必要性に気付く
(海外短期研修、外国人留学生と交流など)
- step2** 留学・就職を視野に英語力を磨く
(TOEFL・TOEIC対策講座)
- step3** 語学力・社会人基礎力のさらなる向上
(交換留学、学部別の留学制度など)

「納得のいく就職」支援

キャリアセンターは1、2年生に「将来、なりたい自分像を描き、早期から働くことを意識するように」と、就活を控えた3年生には「納得のいく仕事に就くために、十分な準備を」と指導している。



中京大生のみを対象とした企業別説明会

自分を知るための少人数制セミナー(自己PR・志望動機/面接対策など)や個別面談、業界・業種を知るための研究会や企業セミナーなど、幅広く、そして個人にあった支援体制を敷いている。また、内定を得た4年生が後輩に就活の経験を伝える学生アドバイザー制度も好評である。

国家公務員、県庁や市役所職員、教員、警察官など、公務員を目指す学生には、各種対策講座(資格センター主催)が用意されている【10、11ページ参照】。



国際センター

休憩時間を利用して留学生と会話を楽しんだり、ウェルカムパーティなどのイベントで国際交流できる。



キャリアセンター

キャリアカウンセラーと職員が常駐し、個別面談や模擬面接、インターンシップ紹介に応じている。

図書館で自発的な学習

本学図書館は、自発的な学習を支援する環境を年々充実させている。意見交換や討論しながら課題作成が可能なラーニング・スクエアを2013年度に設置。レポートの書き方やプレゼン方法を大学院生がアドバイスするラーニング・アドバイザー制度、学生が蔵書を選ぶ「選書ツアー」なども取り入れ、学生の課題解決力や学習への意欲を高めている。



図書館

両キャンパス4館の蔵書は約100万冊、閲覧席数は1,400席。年間約55万人が学習や自習に活用している。(写真は名古屋図書館)

ITによる学習・学生生活支援

WEB上から授業計画参照や教材取得、レポート提出等が行える教育支援システム「MaNaBo」、休講・補講・教室変更や大学からのお知らせ・イベント案内が届く情報提供システム「ALBO」で学修・



学生生活を支援している。コンピュータ演習室(10室)・自習室(6室)には約1,100台のパソコンが設置され、授業や自学自習などに利用されている。

コンピュータ自習室

その他のサポート

- 経済的な支援
(各種奨学金制度)
- 悩み相談
(学生相談センター)
- 課外活動支援

学部授業と トータルサポート

(学習、就職、学生生活など)

「知・徳・体」バランスとれた人間形成めざす

入学

真

真理を追究 **知**

剣

健全な心身 **体**

味

豊かな人間力 **徳**

『真剣味』を携え
社会で活躍

様々な学問に触れ、友と自由に議論を交わし、失敗を恐れず何事にも果敢に挑戦できる。大学で過ごす4年間は、人生の中でも特に貴重で、かけがえのない時期である。価値観や行動の原点を得ることも多い。

本学の建学の精神は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」。「知・徳・体」のバランスのとれた人間形成を教育の柱に据える。多彩な学部教育と最適な教育環境を提供し、学習・就職・生活面などのサポート体制を整え、学生たちの実りある大学生活を後押ししている。

明日の社会を担う学生育てる 多彩な学部教育

多様な個性が集結する11学部18学科

11学部18学科を擁する本学には320人の専任教員が在籍し、多岐にわたる分野の教育研究に従事している。また、キャンパスには全国から多様な個性と志をもった学生たち1万3,000人が集結。明日の社会を担うために互いに切磋琢磨し、学習・研究や課外活動に励んでいる。

効果的に学べるカリキュラム

専門分野を段階的に学べるように、基礎科目⇒基幹科目⇒展開科目に分類。スキルアップ、キャリア形成などの科目も組み入れ、社会人基礎力や将来像を描く力を育成している学部も多い。

きめ細かな指導のゼミ教育

少人数教育で学生一人ひとりの能力や個性を伸ばすゼミナール(通称ゼミ)。専門知識を深めるだけでなく、ゼミ生同士の相互啓発や、社会人基礎力の修得も魅力である。11学部で300以上のゼミを開講。

学部独自の留学プログラム

留学先の情報を収集し、学習・研究計画を半年間かけて練りあげる国際教養学部。英語研修、日本との比較研究をするリサーチワーク、文化交流のアクティビティを行う経営学部。プログラムは学部ごとで異なり、多彩だ。

「より良い授業と学習環境」改善に取り組むFD活動

本学は、授業内容や方法、施設・設備の学習環境等を改善するFD活動に、教職員と学生が協働で取り組んでいる。主な活動は、学生の満足度・意見を知るための「授業改善のためのアンケート」、教員が授業ノウハウを共有するための「参観科目」、セミナー開催やニュースレター発行など。学生FDスタッフは、学生の立場から授業環境の向上を目指し、大学と在学生の双方に働きかけている。



2. 言語や習慣の文化的背景さぐる ネイティブの教員と異文化理解

国際教養学部

アルファロ・フランシスコゼミ〈2～4年〉



アルファロゼミは異文化交流の場でもある

「他国の習慣を無条件に受け入れるのではなく、行動の真意を理解した上で、自分の意見を伝えられるようになってほしい」。中米・グアテマラ出身のアルファロ・フランシスコ助教は、ゼミで「言語と文化」をテーマに、南米やスペインの歴史や習慣のほか、途上国における学校教育整備などのビデオを見て先進国との違いを考え、多くの価値観を紹介してきた。

語学留学と各自の課題に取り組む学部科目「海外課題研究」でスペインに渡った経験を基に、自主

的にメキシコで半年間語学留学した久留宮麻身さん(4年)は両国の言葉の違いについて卒業研究を進める。「中南米の言葉には、歴史だけでなく影響力のあるアメリカに近いという地理的要件が深く関わっている」と、言語の文化背景を探っている。

スペインで「～と言って」という日常会話を、スペイン語圏のメキシコでは「申し付け下さい」と、へりくだって話す。植民地時代の影響からだ。一方、「エレベーター」をメキシコでは“elevador”と言い、スペイン語“ascensor”よりも英語“elevator”に近い。

学生にとっては、アルファロゼミ自体が身近な異文化交流だ。グアテマラの教育環境は日本と異なり、大学で5年間学んだ後、数年かけて卒業論文を書く。「先生は働きながら大学に通い、勉強したくても家庭の事情でできない子どもたちを見てきた」。立松里穂さん(4年)は、日本の学生の恵まれた環境に感謝している。

ゼミや留学を通じて、他国の文化を積極的に知るようになったり、日本の習慣を問い直しながら、学生たちは本当の意図を汲み取っている。

地域の製造業、観光業

3. 経営の視点から捉える地域文化 カフェや観光地訪れ比較・検証

経営学部

寺岡 寛ゼミ〈2～4年〉

お菓子作りが好きで、高校生の頃からカフェ経営を将来の夢に掲げる鵜飼水咲子さん(2年)。目指すカフェ像を探ろうと名古屋キャンパス付近で調査すると、街の特徴や地域経済が、リピーター獲得などカフェ経営にも密接に関わることに気付いた。「戦略性を探るとともに、客層や街づくりも比較・調査していきたい」と話す。

美術館などの地域文化と経済効果の関係について研究を重ねる寺岡寛教授が指導するゼミは、地域の「観光業」に着目している。地域資源の有効活用について検証することを目的に、例年、伊勢市や日間賀島など近隣の観光地でゼミ合宿を行っている。

今年は「アートによる島おこし」に取り組む西尾市佐久島を、9月9、10日にOB2人を含むゼミ生40人が訪れた。市の観光振興セミナーに参加し、観光ルートに点在する現代アートを見学、観光客を観察した。大島優太さん(3年)は、「造形物は見ごたえがあり、連絡船の黒字や若い観光客も多いことか

ら、アートによる島おこしは効果があると言える。その一方で、土産物などにお金を使う場所がなかったり、インフラが完備できておらず、目標である定住者増にはつなげていない」と分析した。

「街づくりには、街並みや昔からの産業など、これまでその土地が築き上げてきた地域の象徴・イメージとなる文化を上手に活用していくことが大事」だと、学生たちは実地調査で実感していく。「学生たちのやる気を3%引き上げるのが私の役割」。寺岡教授の言葉に熱がこもった。



現代アートによる島おこしを検証するゼミ生ら

ゼミに + フォーカス focus on seminars

【第3回テーマ】「文化①」

習慣や生活の本質 見つめ教養広げる

漢字の成り立ちに想いを馳せ、文字の文化を探るゼミがある。他方で、地域の文化を経営という目線から捉え、研究に広がりを持たせようとするゼミがある。

本学では11学部の多岐にわたるゼミが、歴史や文学、映像、踊り、企業など、身近なものから海外まで、様々なジャンルの「文化」にまつわる研究を行っている。代々受け継がれた深い意識が存在する習慣や生活の実態を調査し理解する中で、学生は社会人として必要な教養を身に付け、幅広い視点を育んでいる。

特集「文化」の第1回目は、文学部、国際教養学部、経営学部を紹介する。

文字の文化

1. 文字の由来や変遷を追究 書道を通じ、奥深さ体感

文学部

大池 茂樹ゼミ (3,4年)

人は皆、幸せになりたいと願っている。この『幸』という漢字をひも解いていくと、語源は人が手枷(てかせ)を付けられた状態と言われている。古代中国の奴隷は、殺されるより手枷をされても生きている方がましだろうと考えられた。漢字の持つ意味の奥深さに関心を持ち、研究している西村春花さん(4年)は「幸せとは、人と比べて少しでも良い状態を表す言葉。気の持ち方次第で、幸せにも不幸にもなる」と話し、「戦争のない安全な日本で暮らし、大学に通えるだけで私は十分に幸せかも」と襟を正す。



「文学部書道卒業制作展」に向け練習に励む学生

言葉以外の伝達方法として生まれた文字。その一つひとつには、生活や文化・慣習、感情などが盛り込まれ、時代とともに変化してきた。大池茂樹教授のゼミは文字の文化をテーマに、由来や変遷、歴史的背景などを追究する卒業論文と、文学部が毎年1月に開催する「書道卒業制作展」(会場:愛知県美術館)への作品制作を必須としている。



名前を刻んだ印章も各自で制作(篆刻)

巧妙な作品と称される中国・宋時代の書家、米芾を調べている池田彩菜さん(4年)は「突き詰めても終わりのない

書道が好きで、大池ゼミを選んだ。卒業作品は、書道の分からない人にも『かっこいい書』とか『凄い作品だね』と言ってもらえるように仕上げたい」と日々練習に励んでいる。

現在、目にする文字は、ほとんどが印刷文字である。品質管理され、揃っているから美しく見える。大池教授は「書道は印刷文字と違い、文字に動きや流れがある。大小や、線の強弱、スピード感などで作品全体の調和を図っている。同じ文字が次に出てきた時には書き方を変えるなど、変化と調和、そして趣を重視する」と古来から受け継がれてきた手書き文字の素晴らしさを強調する。

平安時代の書の三蹟(代表する3人)と言われる藤原行成が鎌倉時代から評価されるようになった経緯を調べている藤原ち代さん(4年)は「手紙や連歌で恋心を伝えていた当時は、文字が上手くないと異性にもてなかつた。いかついが伸びやかな文字、小さいけど落ち着いた文字など、字から人となりを判断していた」と恋愛に果たす文字の役割は大きかったと分析している。

振興テーマに

“Sports for Everyone” 一生を通して、誰でも運動を楽しもうという生涯スポーツの考え方が広がっている。ライフスタイルや体力に応じ、いつでも、どこでも、誰でも気軽に楽しむことで、心と体の健康が育まれていく。

体育研究所は1985年の発足以来、生涯スポーツの振興をテーマに、研究と社会貢献活動に取り組んでいる。所長の菊池秀夫・スポーツ科学部教授は「スポーツのベースは遊び。だから自由時間に、自発的に、楽しく健康づくりができる」と話す。同研究所は、安全に楽しめるスポーツのあり方を追究している。



ジュニアスポーツスクール(サッカー)

部の学生ボランティア組織「生涯スポーツ研究会」が、企画や運営を担当している。体育研究所に所属する研究会で、現在27人が参加。

子どもたちが楽しく安全に行えるようにと研修会を開き、スポーツ指導者としての知識を学んでいる。具体的には、熱中症や脳震とうの対処方法、指導者としての言動、競技ごとに適したウォーミングアップやクールダウンの方法など。

今年のスクールには、コーディネーショントレーニング(遊びの要素を取り入れた運動神経系の発達を促す運動)を取り入れ、足でじゃんけんをして負けたら相手の周りを1周走るゲームを準備体操として取り入れた。部長の藤森麻衣子さん(現代社会学部3年)は「スポーツは楽しいと感じてもらえるようにメニューを組み立てている。毎年参加する子も多く、励みになる」と話している。

学生たちの指導にあたっている熊谷慎太郎・研究員は「企画やイベントの運営を行い、地域へのボランティア活動を体験することで、学生たちは社会人としての基礎力が着実に伸びている」と成果を話す。



◎ 地域の人たちにスポーツスクール

リピーター多く人気

地域の人たちにスポーツを楽しんでもらおうと、体育研究所は、7つのスポーツスクールを、延べ17日間にわたり開催している。毎年、定員をオーバーする程の参加者がある人気のイベントとして、地元の人たちに定着している。

成人を対象にしたテニススクール=写真(右)、ノルディックウォーキングは20代から70代と幅広い年齢層の人たちが集まり、リピーター率は約7割と高い。顔見知りとなった参加者同士が声を掛け合い、和やかな雰囲気の中でプレーを楽しんでいる。



キッズダンススクール=写真(上)=はダンス部の顧問と部員たちが指導にあっている。低学年クラス、高学年クラスの2部制で実施し、全4回で振り付けを習っていく。最終日の発表会には家族らが鑑賞に訪れ、子どもたちは歓声と拍手の中、覚えたてのダンスを夢中で踊っている。小学生対象のジュニアスポーツスクール(バスケットボール、バレーボールなど4種目)は、本学の学生ボランティア組織「生涯スポーツ研究会」のメンバーが企画・運営を担当している。

ジュニアスポーツスクール 学生ボランティア組織が企画・運営

ジュニアスポーツスクールは、現代社会、工、スポーツ科学

◎ 豊田市と指導者養成などで連携

スポーツや健康に関する社会貢献活動は、体育研究所のほか、スポーツ科学部や体育会所属クラブなどでも活発に実施している。それぞれの活動拠点が豊田キャンパスであることから、豊田市とは、指導者の養成や健康に関する取り組みをはじめ包括的な協力関係にある。

豊田市が進める「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」では、①スポーツ・健康講演会(体育会)、②スポーツ健康相談、健康増進教室(スポーツ科学部教員OB)、③スポーツスクール(体育研究所)、④がんばれ中1!初心者応援教室(体育会)、⑤ライフスタイルに応じた運動教室事業(体育研究所)などで協力している。豊田市教育委員会主催「スポーツクラブ指導者養成講座」では、スポーツ科学部の教員(OB・OG含む)も講師を務め、一部の会場は本学のスポーツ施設を利用している。

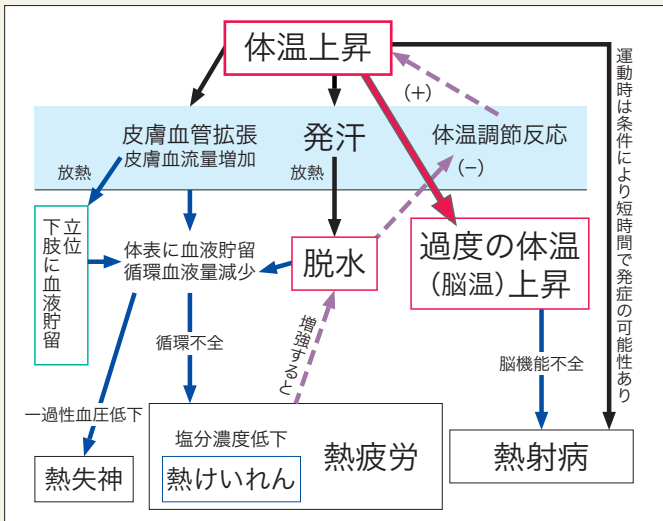


研究事例： 「熱中症予防に関する総合的研究」

熱中症予防は春先から

「スポーツは安全に楽しむべきもの。スポーツ活動中の熱中症による死亡事故を1例もださないよう、一層、取り組むことが最重要課題だ」。松本孝朗・研究員(スポーツ科学部教授)は、熱中症の研究を進めるとともに、予防のためにスポーツ現場ですべきことを広く発信している。

夏を迎える前に暑さに耐えられる体づくり……『暑熱順化』の重要性を松本研究員は指摘する。人には発汗と、皮膚への血流量を増加させる体温調節機能がある。この2つの機能を、暑くなる前から適度な運動をして高めていくのである。「暑熱順化が生じることで、一定の運動負荷に対する体温上昇が小さくなる。心拍数も低く抑えられ、暑さにより耐えられるようになる」と検証結果を話す。梅雨明けに気温が急に上昇した時などは、暑熱順化が欠如していると、熱中症のリスクが高くなるという。



熱中症発症メカニズム

知って防ごう熱疲労!

熱中症とは、暑さによって起こる障害の総称。熱失神、熱けいれん、熱疲労、熱射病の順に重症度が増し、熱射病は体温が40度を超えて脳に異常をきたすため、死に至るリスクが高い。松本研究員は「熱中症で一番理解すべきは、軽い熱疲労から熱射病へと病態が進行していく事実」と話し、「知って防ごう熱疲労!」と強調する。熱疲労の症状は、頭痛・めまい・吐

生涯スポーツの



体育
研究
所

き気、脱力感など、風邪や胃腸障害と症状が似ている。このような症状が現れたら、休憩をとり、スポーツドリンクなどで水分と塩分を補給することが重要だ。

松本研究員は、学校のクラブ活動やスポーツ少年団の指導者などに配布している日本体育協会『スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック』、市役所など行政の保健担当者に向けた環境省「熱中症環境保健マニュアル」などの制作にも携わっている。猛暑と言われた2010年には熱中症での死亡が1,745件に達した。8割は高齢者で日常生活中に起こっている。「熱中症にならないために、春先から、暑熱順化を意識した運動と、遮光用にヘチマなどを栽培して緑のカーテンを作るなど日常生活面での備えを心掛けて」と呼びかけている。



研究成果を社会に還元

体育研究所は、体育学、スポーツ科学研究の総合化に努めている。その範囲は、人文系の歴史哲学から自然科学系の生化学に至る多様な領域にわたる。生涯スポーツの振興という基礎テーマを掲げ、①体力科学、②バイオメカニクス、③メンタルマネジメント、④スポーツ文化・社会科学の4つの班に分かれて研究に取り組んでいる。

研究成果を地域社会に還元していくために、市民向けのスポーツ教室、学術講演会、研究例会を開催するとともに、「体育研究所紀要」としてまとめ、毎年発行している。

●研究事例

- 骨強度増加の為の運動に関する基礎的研究
- 脳の機能と構造に関する研究
- スポーツサービスの評価に関する研究

●学術講演会テーマ

- 「スポーツ政策新時代の幕開け」
- 「企業チームから地域クラブチームへ」

しなやかに挑み続ける新生・中京大学

CHUKYO UNIVERSITY

2014
November

学内初の公募型コンテスト

産学連携「旅行商品開発プロジェクト」



中京大学



JAPAN
AIRLINES



名鉄観光



29組95人の学生が参加し、熱気に満ちた事前説明会

オープンキャンパスに受験生ら9,200人

大学や学部選択の指針に



◀総合受付前から各イベント会場へ(名古屋キャンパス)

第30回全国同窓会

OB・OGや支部との結束力高める



◀節目の30回を迎えた全国同窓会(長崎で開催)

在学生・保護者・同窓生・近隣住民らでにぎわう

- 大学祭 ●キャンパス見学会(保護者対象)
- ホームカミングデー(同窓生対象)



▲会場を熱気に包む大学祭メインステージのダンス



◀保護者や同窓生が詰めかけたホームカミングデー／キャンパス見学会